

久々利川の自然

久々利川の魚類調査



今から60年程前の子ともたちは、川で泳いだり魚を捕ったりして遊びました。また、川は洗濯をしたりお米をといだりと稲作をはじめ久々利住民の生活と密接した関係を築いていました。しかし昭和40年頃から河川の汚染と共にこれらの関係は薄れ川魚の姿も急速に見られなくなりました。

最近になって徐々に水質も改善され、以前より魚の姿を見る機会が増えたようです。

そこで、2023年の夏に岐阜大学・向井先生のご協力を得て久々利川の生物調査を実施し、以下の生物の生息を確認しました。(調査場所：丸山薬師洞、丸山久々利川本流、大萱久々利川本流)

※生物名の()内は久々利での呼び名



カワムツ



オイカワ(シラハエ)



フナ



スジエビ(シマエビ)



モツゴ(モロコ)



ニシマドジョウ
(ムギワラドジョウ)



アカザ(バッチ)



カワヨシノボリ
(ドレンコ)



サワガニ



薬師洞土部での調査



本流での投網による採取



大萱での調査

久々利に見られる鳥

浅間山に連なる山々と流れ出る久々利川や一帯に広がる田園には、色とりどりの自生する鳥や渡り鳥が飛来します。



カワセミ



モズ



ヤマガラ



メジロ



ジョウビタキ



ホオジロ



カケス



カワラヒワ



イカル



キセキレイ



コウノトリ(夢)
2015年飛来



オシドリ